

第11号

市自公連だより



筑紫野市自治公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市自公連事務局

■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3

■発行責任者 会長 中野 二郎

生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

【 役員 の 言 葉 】



筑紫野市自治公民館連絡協議会

会計 石内 傳治

(山口公民館 館長)

市自公連の主な活動内容のひとつとして、研修と広報(「市自公連だより」など)があります。研修は全国レベル(九州地区)及び県レベルの公民館連合会が実施している大会・研究会への参加と、市自公連が主催する研修とから構成されています。市自公連の研修は「コミュニティ運営協議会」と一体となり、「地域防災」、「地域福祉」、「教育(子ども・高齢者の居場所づくり)」を主要テーマとして計画・実施されています。具体的には、公民館長・主事を対象とした研修では「地域防災」を、公民館及びコミュニティ関係者等を対象とした「推進大会」では主として「福祉」を、機関団体(コミュニティ連絡会等)を対象としたものでは教育(「人権研修会」)をそれぞれテーマにしています。さらに、地区別に公民館活動の実践例を視察する研修等が実施されてきました。

ところで「防災・福祉・教育」の主要テーマは、近年特に各地の公民館がその拠点として求められている重要な機能となっています。したがって、その機能をどのように強化していくかが課題になっており、研修もその課題解決に資するためのものとして計画・実施されてきたと理解されます。これらの研修の成果を示すことは困難ですが、「活動の参考になった」との評価をいただいています。しかし、近年はコロナ禍のため、資料の取り寄せ等が多くなり、議論を深めることができていないのが現状かと思われまます。筑紫野市自公連は7地区87の公民館から構成されており、活動は各地区からの負担金の合計約92万円で運営されています。したがって、上記研修もこの予算の範囲での活動となり、無駄のない有効な活動が強く求められていると思われまます。今後とも、皆様からのご要望、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

市自公連館長・主事等研修会

6月18日(土)9時半から生涯学習センター「さんあいホール」で開催。今年度は、令和3年度・4年度に自治公民館の館長・主事等になられた方を中心に、3年ぶりの集合研修を開催しました。

(参加者：130名)

【研修内容】①公民館館長・主事の基本的な役割 ②地域防災に関する講演(講師：朝倉市立石コミュニティセンター長 川端 恵美子氏他) ③持続可能な自主防災体制の確立「たていしぼうさいプロジェクト」④地域防災に関する課題・対策についての討議、意見交換(災害発生時の対応について「あなたならどうする」というテーマで「クロードゲーム」方式により、参加者は着席のまま、講師・コーディネーター等と相互交流を実施)

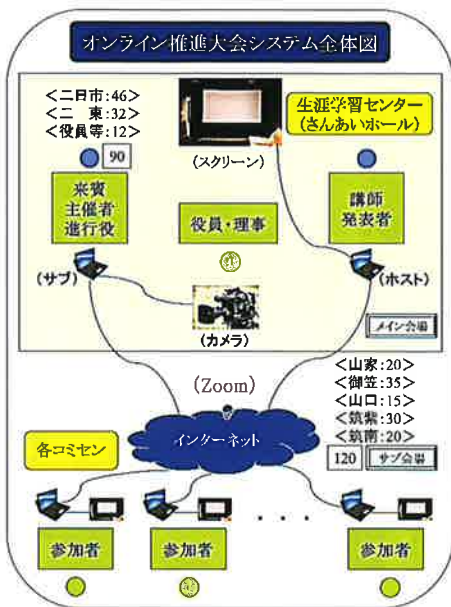
「たていしぼうさいプロジェクト」は、防災教育、見守り活動、人材育成を地域で循環しながら、地域防災力の向上をはかっていくという仕組みになっています。一つ一つの事業では、なかなか前に進まないことも、循環させることで、前進する力が生まれてきます。防災力は、地域力です。」という講師の言葉が印象的でした。



令和4年度筑紫野市自治公民館連絡協議会「推進大会」

「集合とオンライン参加者が同時に受講する新しい『ハイブリッド研修』開催」

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年とは異なる研修方式で実施しました。さんあいホールをメイン会場として、役員・理事の皆様及び一部の地域の方には、この会場で研修に参加していただき、その様子をZoomにより、サブ会場の各コミセンにお集まりの各地区自公連、コミ協等からの参加者の皆様にオンラインで同時配信させていただきました。心配されたサブ会場における音声・映像等の状態は94%が「良い」「ふつう」で、今後の新しい研修スタイルの一つとして実証することができました。また講演・事例発表は、「大変参考になった」「参考になった」の比率が91%・84%で、今後の地域福祉を考える一助になったと思われます。（参加者）メイン会場：77名 サブ会場：85名



【大会テーマ】『持続可能な地域福祉を支える公民館活動』

～ すべての方が支え合いながら地域で共に生きていく ～

【講演】「公民館を拠点とした市民福祉教育の推進」

～ 福祉教育プラットフォームの構築 ～



【インタビューダイアログ】



「公民館を拠点とする地域福祉の推進」

～持続可能な公民館・地域活動の活性化

メイン会場



（事例発表①）

発表者 曙町公民館 館長 原田 忠継 氏

テーマ 「曙町の町内会・公民館活動」

～地域で支え合う福祉サロン活動～

（事例発表②）

発表者 美しが丘北公民館 館長 中野 みほ子 氏

テーマ 「美しが丘北自治会」

～ 支え愛、つながろう、地域で ～

サブ会場



(山口)



(山家)



(筑紫南)



(筑紫)



(御笠)

令和四年度福岡県公民館大会

8月24日、九州大学伊都キャンパス椎木講堂で集合研修が開催されました。市自公連は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集合研修には参加せず、研修資料配布・録画配信視聴により研修に参加しました。

【大会テーマ】

「持続可能な地域づくりに向けて 公民館に求められるもの」
 ～「つどう」「つながる」公民館活動～

【講演】

「持続可能な地域づくりに向けて、公民館に求められるものとは」
 九州共立大学 名誉教授 古市勝也 氏

【パネルディスカッション】

はじまりシアハウス(学生版オンライン公民館)
 九州大学 和田千夏氏 他

令和四年度 九州地区公民館研究大会

今年度は、9月1日～2日、鹿児島県文化センターをメイン会場として開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集合開催を中止して動画配信による開催となりました。市自公連は、研修資料配布・録画配信視聴により研修に参加しました。

【大会テーマ】

「いっしょき きばいもんそ 公民館。九州はひとつ！」

【分科会(第1～6)】

- 「学校や家庭と連携した地域づくり」「家庭教育支援」
- 「高齢社会への対応」「みんなの人権」
- 「安全・安心なまちづくり」「コロナ禍における自治公民館活動」

コロナに負けない夏のイベント IN 筑紫野

3年ぶりに開催された各地区の様子をご紹介します



夏 **2022** イベント 祭 **2022 SUMMER EVENT CHIKUSHINO CITY**

令和4年度 各地区夏祭り代替え事業



打上げ花火
山家全公民館

山家地区

山口地区



打上げ花火
古賀公民館



サマーフェスティバル
美しが丘北公民館

筑紫野南地区



サマーフェスティバル
美しが丘南公民館



七夕飾りと竹灯籠のタベ
紫ヶ丘公民館

二日市東地区



夏の抽選会
石崎公民館



みんなの笑顔が帰ってきた



二日市地区



湯町納涼会
湯町公民館

子ども七夕飾り
本町公民館



御笠地区



牛島区納涼コンサート
令和4年7月30日 主催 牛島公民館

子ども神輿
みかさ台公民館

牛島区納涼コンサート
牛島公民館



筑紫地区



永岡およど夏まつり
永岡公民館

岡田子ども夏まつり
岡田公民館



スマホ講座紹介

全国で2千万人とも言われるデジタル弱者を支援するため、国としても高齢者に対するスマホ講座の開催を促進しています。市自公連では、今年5月から、毎月1回の割合で各地区自治公民館を拠点としてソフトバンク様によるスマホ講座を開催しています。9月までに実施した公民館等及び参加者は「石崎:10名」「山口:18名」「筑紫よかまち協議会:13名」「筑紫:18名」「松ヶ浦:13名」です。今後、来年の3月までの予定で講座が開催されます。

【講座内容】

① スマホ操作入門編

② LINE入門編



スマートフォン体験講座のご案内
『楽しくわかるスマートフォン体験講座』

スマートフォンを触ったことが無い、初めての方を対象とした講座です。
「インターネットもよくわからない」「スマートフォンに興味はあるけれど、よくわからない」「自分にとって必要なのやら」と思っている方、講座にぜひ出席して体験してみませんか？ スマートフォンの楽しさや、「困ったより簡単」を体験していただけます。

◆講座内容120分 定員20名

時間	内容
5分	・お名前のご挨拶
10分	・スマホの基礎知識 ①スマホとは？ ②スマホの種類 ③スマホの操作
15分	・スマホの活用 ①LINEの活用 ②メールの送受信 ③写真の撮影・保存

※各一人様につき、スマートフォンを1台ご持参ください。
※新型コロナウイルス感染予防のため、定期的に換気させていただきます。
※費用は会場にて体験していただけます。



8/16(火)午前中

活用編 LINE活用講座

項目	時間	内容
①挨拶・自己紹介	5分	・教壇の目的
②スマホとは？	10分	・ガラケーとスマホの違い・スマホの種類 AndroidとiPhone、それぞれの強み
③LINE体験	90分	①LINEの活用講座 トーク・友だち追加・グループLINE 無料通話・写真送付など ②音声アシスタント(10分～20分)
④まとめ・質疑応答	15分	・ソフトバンク販促品紹介(スマホアドバイザー) ・よくある質問に対する説明

実機体験中心のカリキュラム

【講座を受けての感想】

- ・自己流で操作していたが、スマホの基本がわかって面白かった。
- ・我流の使い方であったことを認識するとともに、本来の機能を体系的に知ることができた。
- ・講座の雰囲気も良く、非常に盛況で有意義であった。
- ・「恥ずかしいから人に聞けない」という雰囲気ではなく、日頃のサロンのように楽しめた。
- ・時間が足りなかった。1回だけでは難しい。多くの方から、講座の再開の要望があった。
- ・LINEについて、詳細な使用方法が理解できた。
- ・ガラケーからの乗り換えを検討し始めた。
- ・「IT弱者への配慮」という観点からスマホをきっかけにバリエーションを広げていきたい。



ようこそ！山家コミュニティ運営協議会へ

長崎街道・薩摩街道・日田街道の歴史が交叉する山家

山家は、遠い昔に栄えた山家宿(やまやしゆく)がある地域で、上町(かんまち)のほぼ中央に「おえべすさま」とよばれる恵比須(えびす)石神がまつられています。この石神の裏面には、山家の宿場ができた由来が彫り込まれています。今ではもう消えかかっている、文字のあとがかすかにわかる程度ですが、注意ぶかくみると、次のように書かれています。

当町初建之事去慶長拾六年辛亥十月上旬播州之住人桐山丹波守創造□□□

刻一基之石像為国家安寧斯地長久□□時寛永拾年□□□□ 志方彦太夫立之

この銘文の意味は、「この町がはじめて建てられたこと。去る慶長16年(1611)10月上旬に播磨(はりま)国(現在の兵庫県の大部分)の出身である桐山丹波(きりやまたんば)がこの宿場を建設した。その記念にこの一基の石像を刻み、国の安全と山家宿の繁栄を祈る。時に寛永10年(1633)、志方彦太夫(しかたひこだゆう)これをたてる。



昔の上町の恵比須石神
道の両側には水路に清い水が流れ、桜並木があった。

山家宿略図

この図は、明治時代の宇田重忠の『万国図説』(文政元年(1819)刊)の図を複製したものである。



長崎街道筑前六宿の山家、道は宿場町特有のかぎ型をしており、出入口には構口があった。

山家宿驛図：北西に山並み、南東には平野に川があり風水に富み、縄文時代から人が住んでいたと言われている。

1860年頃の町割り

山家コミュニティ運営協議会ホームページでは、「山と史跡と神楽の里」歴史のロマンあふれる山家を紹介するとともに、「山家是一つ」を合言葉に日々活動している山家コミ協、山家地区自公連、山家幼稚園・小学校、各部会等々の活動を紹介しています。

公民館紹介

下見1区公民館

下見地区は筑紫野市の南の端に位置し、筑前町に隣接する地域で世帯数は463、人口1064人(男性517人女性547人)の行政区です。近年は住宅開発が進み住民の多くが新しく下見地区に入居した人達が大半を占める社会となっています。新旧住民は、下見地区で引き継がれていた伝統行事を共に行うことで相互理解と親睦を深めてゆき、その活動拠点「公民館」を中心に活動の輪を広げています。

ここ数年、公民館の利用頻度は向上しています。クラブ活動・福祉活動・子ども活動・シニア活動・区の行事と集う・楽しむ・親睦を深める活動が多く見られ、このような活動を通じて明るいまちづくりを目指しています。



ほうげんぎょう(1月)



健やかクラブ(2月)



お獅子舞い(7月)



体育祭(10月)

紫公民館



「紫」は万葉の昔からの地名で、現在1,200世帯の行政区となっています。平成22年開業の西鉄の駅名は、地元の要望で「紫駅」となりました。傍らに菅原道真公の「つくしにも紫生ふる…」の歌碑があり、歴史を感じ取れます。駅名が一時「紫駅だZ!」となったことで、アイドルグループのファンが多数訪れる、という現代的な一面も垣間見られます。



～ 主な活動内容 ～

【シニアクラブ 二水会】60歳以上の会員23名で構成。例会、グランドゴルフ、ペタンク等を楽しんでいます。また社会奉仕活動で「見守り隊、道路や公共施設の清掃美化活動等」に取り組んでいます。

【福祉部 紫サロン】毎月一回、体操、音楽、陶芸、勉強会など様々な取り組みで心身の健康を目指し、楽しく交流を図っています。コロナが収束すれば、バスハイクも再開したいです。

【子ども会】毎年、二日市八幡宮の夏季大祭に参加。約50年前から子供提灯山笠を奉納していますが、コロナ禍のため、今年は提灯行列でした。マスク越しに元気な「ワイヤ・ホー・ワイ!」の声に沿道から拍手や手拍子で応援を頂きました。



清掃美化活動



陶芸教室



子ども提灯山笠

